



夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第7号 ～ 令和5年5月2日

スクールプランと子どもたちの願い～こんな学校に～

先日お知らせしましたスクールプランには学校教育目標が載せられています。学校教育目標は「郷土と自然に親しみ、心豊かでたくましく生きる児童を育成する」です。前段部分「郷土と自然に親しみ」はスクールプランに示しました目指す学校像の「地域に根ざした教育を実践する学校」で地域の方のご協力を得ながらふるさと学習や様々な体験学習を実施していくことやめざす児童像の「郷土を愛する子」と繋がります。後段部分の「心豊かでたくましく生きる」についてはめざす児童像に記載した内容と繋がっています。この「心豊かでたくましく生きる」についてもう少し考えてみたいと思います。春休み中に2年生から6年生のみなさんに「この今庄小学校をどんな学校にしたいですか。どんな学校だったらいいと思いますか。」という宿題を出して、子どもたち一人一人に願いを書いてもらいました。その一つについては始業式の日話をしました。（始業式での話は学校だより第3号をご覧ください。）

- 1 あいさつがよい学校
- 2 仲がよい学校
- 3 楽しい学校
- 4 明るい学校
- 5 元気な学校

子どもたちが書いてくれた中で多かったものが左の5つでした。これらのことは学校教育目標の「心豊かにたくましく」を別の言葉に言い換えたものであると考えてもよいでしょう。特に「あいさつがよい」「仲がよい」というのは大切で、相手が必要です。学校は学習する場であると同時に社会性を身につけていく場でもあります。子どもたちが安心して学校生活を送っていただけるためには「よりよい人間関係を築くこと」が重要です。それは学校だけでなく、これからより大きな社会で生きていくために必要なものです。これらが上位に来ているということは、子どもたちの多くがその大切さを理解しているからでしょう。これまでの生活の中で実感してきたことに繋がっているのだと考えられます。また、「楽しい」や「明るい」「元気な」はよい人間関係が築けることにより一人一人が感じてくれるのではないのでしょうか。「あいさつがよい」「仲がよい」が土台となり、心身共に健康な子どもに育って行ってくれることを期待します。このことを踏まえて、ゴールデンウィーク中に子どもたちに宿題を出しました。自分たちが願う学校を実現するために「自分ができること」を考えてほしいということです。一人一人できることは違うと思いますが、学校の一員として1つでも2つでもできることが何かあるはずで、物事を自分事として捉え、考えて行動に移してくれることを願っています。今庄小学校の校歌の1番の中に「仰ぐ 理想の 旗 美しく」という歌詞があります。子どもたちが願っている学校は正にこの校歌の中に出てくる「理想」の学校です。校歌を歌う機会はこれから何回か出てきます。「仰ぐ理想の～」と歌うとき、自分たちが創っていきたい学校を思いながら歌ってくれるとありがたいと思います。そして子どもたちがどんな学校を創っていただけるか楽しみができました。

コロナが2類から5類に

テレビや新聞等で話題に上がっていますように、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行します。それによりこれまで行っていました検温表へ記入し、学校へ提出することは不要となりました。これまでご協力くださりありがとうございました。ただし新型コロナが収束したわけではありませんので、これまで同様、体調管理や手洗いなど自主的な感染対策の継続をお願いします。また体調が優れないときは早期に医療機関の受診をお願いします。その他、詳しいことは保健だよりをご覧ください。